

## 1. 2/16 給与・退職金支払い方法についての議論が活発化

労務省の Ith Sam Heng 氏は昨日、多額の退職金を支払わずに国外へ逃げた縫製工オーナーについて警察に報告した。また同時に、**毎年 1 回のボーナスと 2 週間おきの給与**を、新たな支払い方法として提案した。縫製業労働者が、今回と同じように給与未払いに陥るリスクを減らすことができる、というのがその理由だ。Sam Heng 氏がこの提案を行ったのは、Chung Fai ニットウェア工場の労働者たちが国道 2 号線を妨害して退職金や給与を求めてデモ活動を行った翌日。労務省のアニュアルミーティング中だ。Chung Fai ニットウェア工場は、正式な倒産の発表がなく突然シャッターが下ろされた。労働者の代表によると、工場に 10 年以上勤めていた者もいて、退職金の合計額は 5000 ドルに上るといふ。

Sam Heng 氏は昨日、年々増えて行く退職金の支払い額は、結局工場のオーナーにとっては、最終的には重い負担となっている。そのため、雇用者や組合に対して、今年労働法を訂正するべきではないか、と提案したのだ。「雇用者が退職金などを放置して逃げてしまうのは、多額であるために支払いが困難だという状況に陥っているからです。工場のマシンを売って売り上げで支払うこともしていますが、それだけでは足りない場合も多いのです。そのため、退職金を毎年支払って行ってはどうかと思っています。万が一工場がクローズしても、退職金の負担が一気に来ることはありませんし、その場合は労働者の方もデモをする可能性も低くなります」と話す。しかし Sam Heng 氏は、Chung Fai ニットウェア工場のデモについても強く非難しており、政府は労働者のリーダー的立場にいる人物を逮捕するかもしれない、と示唆している。「誰が労働者たちを駆り立て国道に立たせたのか調査します。国道は公共のもので、これを邪魔するのは理不尽な行為です。ちゃんと法の処罰を受けてもらいたいと思っています。もし、労働者のなかに誰がリーダーか教えてくれる人がいたら、その人には報酬を与えます」と話す。

Chung Fai 工場の労働者代表、Khorn Chiven さんは昨日、「誰かが私たちに国道に立てと命令したわけではありません。私たちはグループとして、自分たちで決めたのです。それ以外に、退職金をもらう方法が思いつきませんでしたから」と彼女は話した。しかし彼女は、労務省の提案する新たな給与の支払い方について、喜ばしいと話す。勝手にクローズした Chung Fai 工場と 6 月からずっと戦っている自分たちにとっても、少しは癒しになると言う。「2 週間ごとにお金がもらえるのは良いアイデアです。どのタイミングでオーナーがいなくなっても、被害となる賃金は 2 週間分にとどまるということですから」と彼女は話す。

一方、GMAC の事務局長 Ken Loo 氏は、賃金の大半がいまだにキャッシュで支払われていることを考慮すると、2 週間おきに払うのは現実的な策ではない、と話す。工場のほとんどは、退職金の負担が重すぎるからクローズするのではなく、単にビジネスが上手くいっていないから閉めるのだ、と Ken Loo 氏は強調する。「雇用者は別に逃げる必要はありません。もし倒産したとすれば、マシンを売って労働者賃金を払うのが普通です。別の機関に借金があったとしても、一番にその売り上げからの支払いを主張する権利があるのは労働者です」と話す。

一方で、労働組合は労務省の提案に賛同する。Coalition of Cambodian Apparel Workers' Democratic Union 代表の Ath Thorn 氏は、「何十万ドルもの賃金を放置したままクローズする工場もあります。それに退職金を加えると、数百万ドルにもなります。私たちは、労働者のアクセスできる銀行口座を作り、会社に積み立てて行って欲しいと思っています」と話した。また、National Trade Union Coalition 代表の Far Sally 氏は、「労務省が労働者のために思い提案してくれたのは嬉しいが、雇用者達がそれに従って実行できるかが問題です。雇用者は、多額のお金を持って勝手に逃げていき、残された労働者達は涙にくれるだけなのが現状です」と話す。Solidarity Center の William Conklin 氏は、「現在、雇用者側が追っている責任以上の保障を行うため、ソーシャル・セーフティーネットや社会保障が必要だと思います。たとえ長期雇用契約でなくとも、誰もが保障金を受け取れるようにしなくてはなりません。それが労働者への差別をなくす第 1 歩です」と話した。また、保障金は、雇用契約の満期を終えて退職する人以外にも、別の理由で退職する人にも支払わなくてはならない、と話す。労務省が提案している 2 週間おきの給与支払いについては、実家へお金を送る風習のあるカンボジア人には有益な方法だ、と話した。

昨年、労務省によると 141 箇所の工場がクローズし、149 箇所が新たにオープンしたという。2015 年は 77 箇所がクローズし、43 箇所がオープンしていた。また、2016 年は 220 件のデモ活動が起り、関わった労働者が合計 5 万 4978 人。220 件のうち 214 件についてはすでに解決済みだが、残る 6 件はまだ続いている。2015 年のデモの回数は 336 回。

## 2. 2/27 GMAC、賃金支払い方法について労務省と打ち合わせ要求へ

GMAC は 2 月 23 日付の書簡の中で、Sam Heng 労働大臣に対して退職金システムについて協議をするよう要求した。労働法の第 116 条を施行するにあたって、退職金の支払いに関して、雇用者に準備期間を与えるようにお願いする予定である。116 条は、月に少なくとも 2 回は労働者への支払いがあるように定めているものだ。116 項は過去に例がない

が、Sam Heng 氏の行ったスピーチの中で、変更が示唆された。このスピーチの中では、退職金を少しずつ定期的に払うことが提案された。これは、工場が突然閉鎖して退職金を払わずに雇用者が姿を消す場合のリスクを考えてのものである。GMAC の副事務局長である Kaing Monika 氏は、「この問題について、労務省は一度も GMAC に相談しないまま、プロセスを進めようとしています。労務省は法律について真剣に考えており、もちろん私たちも異論はありません。ただ、準備するための期間が必要だと伝えたいのです」と話した。

Monika 氏は「GMAC は、月に 2 回労働者へ支払いをするのが雇用者の義務となることは理解しました。しかし現在、電子決済へシフトの最中であることを考えると、新しい支払いスケジュールに合わせるのには、十分な時間がとれない限り難しいです」と話した。Monika 氏によると、会計を担当する人材を今より雇わないといけないう以外にも、労働者に電子決済について教育することも必要だという。工場で働く Chan Nas さんは「私は別に振り込みでもいいですが、難しそうです。私は文字が読めませんから」と話した。昨日の時点で、GMAC は労務省からの返事を受け取っていない。

Collective Union of Movement of Workers の代表 Pay Sina さんは、「新しい支払い方法については賛成です。しかし、労働者へのちゃんとした給与支払いを確保するという目的のためには、それほど効果があるとは思えません。払わずにオーナーが逃げたままのことは、結局ありえますから。一番良い方法は、労務省が命令して、縫製工場に一定の金額を貯蓄させておくことです。そしてもし工場が倒産したりオーナーが逃げた場合、その貯金から支払えるようにしておくのです」と話した。

### 3. 2/22 縫製工場で大量失神、殺虫剤が原因か



全国社会保障基金によると、Ly Quiang Corp 縫製工場で働く労働者のうち 80 人が昨日失神したことが明らかになった。大人数が同時に一箇所で失神する事故は、3ヶ月前にも起きている。NSSF によると、77 人はいまだ Batheay 州病院で治療を受けている。失神は、工場近くの農夫たちが撒いた殺虫剤を吸い込んだのが原因だと思われる。昨年 11 月にも、40 人が同時に工場内で殺虫剤吸引により失神する事故があった。コミュニティの副チーフである Doung Nga さんは昨日、農夫の殺虫剤使用には問題がなかった、と話した。「殺虫剤

を撒くのは別に違法ではありません。彼らに使用停止させることはできません。しかし、工場操業時間を外して撒くように提案します」と話した。工場で働く Srey Nha さんは、「私たちは匂いに耐えられません。吸い込んだ後、身体の力が抜けていく気がします。とても嫌な匂いで、呼吸がしづらくなるのです」と話した。

### 4. 2/17 サムランシーの救国党の 2 人が拘留へ

バンテアイエンチェイ州のポイプトに暮らすサムランシー救国党所属の副コミュニティチーフが逮捕され、公判前拘留となった。事件から約 2 年が経った今、自治体が再び、暴動となったデモについての事件を動かした。同日、サムランシー党のコミュニティチーフが同じくプンペンで逮捕された。昨年の国民投票への申請のなか、彼は何度にも渡って管理者に対し、不正の身分証明書を提示していたためだ。ポイプトの副コミュニティチーフ Chao Veasna 容疑者は、2015 年に税関事務所で勃発した事件への関与した容疑がかかっている。Veasna 容疑者は、デモが暴徒化して、事務所に石が投げられたり車のタイヤが燃やされたり始めたときも、自分はほとんど何もしていない、と話している。

Veasna 容疑者の代理人 Choung Choungy さんは、事件を担当する Ek Polilil 判事に対して、容疑者は 4 時間もの取り調べの間正直に話し続けた、と主張した。その間、当事者は何かか危害を加えたことは一度もない、と無実を主張し続けた。しかし判事は、それでも容疑者を拘留しておく選択をし、彼が目撃者に接触し何らかの脅迫や交渉を行うチャンスを潰した。Choungy さんは「彼の保釈を要求します。国外へ逃げることは不可能だと思います」と話した。旧サムランシー党の救国党の上院議員 Sor Chandeth さんは、Veasna 容疑者の罪は、政治的な動機があった、と話す。サムランシー党は、2012 年の地区選挙ののちにヒューマンライツ党と合併して、カンボジア救国党を組織する一部分となった政党である。Veasna 容疑者は、来る地区選挙では救国党のトップ候補者である。そして、人気のある政治家は、コミュニティチーフの地位につけることはよく知られている。しかし今回の容疑で、Veasna 容疑者はその地位につけない可能性の方が大きくなった。「今回の裁判は理不尽です」と Chandeth さんは話す。「Veasna さんは、ただ自治体の職員として現地に行き、デモを傍観していたにすぎません」と話した。バンテアイエンチェイの Soum Chankea さんは、「2015 年のデモを見ていたとき、私は Veasna さんが別の職員たちと一緒にいるのを見ました。私は、なぜあそこにいるのかと聞きましたが、彼は、ただ労働者たちに対して、落ち着くようにと呼びかけていただけだと話しました」と言う。

また、プンペンのトゥールコックのコミュニティチーフでありサムランシー党の一員である Ly Sokun さんは、公判前拘留に送られた。彼は、書類を捏造した罪に問われている。Sokun 容疑者の弁護士、Meng Sopheary さんによると、9 月の選挙申請の初めの日、Sokun 容疑者は ID カードを見せたそのとき彼は、選挙管理人のうち一人の写真を ID カードに載

せ、同時に別の管理人の名前を書いたという。Sophearyさんは、これは間違いだった、と認めている。「彼はただ混乱していたのです。カードを捏造するつもりだったのではありません。自治体レベルでは、すでにこの問題はかたずいていて、裁判になるとは思いもしませんでした」と話す。Sokun 容疑者は、懲役 5 年～10 年の可能性がある、と話した。Comfrel のディレクターKol Phanhaさんは、「野党の中心人物たちが拘留されていることで、来る国民選挙に影響が出てきます。彼らには立候補のチャンスさえ失ってしまうのですから」と話した。

## 5. 2/23 ホームレス 2 人の遺体が見つかる、調査中

ホームレスの中年男性 2 人の遺体が、プノンペンの Daun Penh 地区で昨日の朝発見された。2 人目の遺体は、1 人目が発見されて警察が現場に到着して約 6 時間後に発見された。1 人はカンボジア開発評議会の近く、もう一人は、Sisowath Quay 沿いの港近くで発見された。警察は、二人の死因はまだわかっていない、と発表した。ソーシャルメディアの Facebook を通して遺体の写真が拡散しており、それを見た人のうち、遺体を長く道路に放置しすぎだ、として警察を非難した者もいた。コミュニケーションの Chhay Thearithさんは「警察を非難する人もいますが、遺体があるという通報が入った後、私たちはすぐその場に行きました。1 人は朝の 4 時には死亡していて、6 時にはパゴダに搬送しました。寝ずに仕事しています」と話した。遺体のうち一つの発見場所から 10m ほどの距離に暮らしている Keo Phallyさんは、彼が夜中 1 時に遺体を発見して警察に通報したが、警察がついたのは 2 時間後だった、と話した。遺体は 9 時までそこにあり、その頃ようやく救急車がやってきて、葬式に運んで行ったと証言。しかし Phallyさんは、遺体の家族が見つかり連絡がとれるまで、遺体をそのまましておくのは通常のことではないか、と話した。遺体が運ばれたパゴダで葬式を担当している Chea Chheurnさんは、2 人の遺体はすでに火葬にした、と話した。

## 6. 2/24 魚の関税が上がり、ポイペトで商人の不满広がる



タイが魚介類の輸入関税を増やすという決定に怒った約 100 人のカンボジア人の魚売り達が、ポイペトの国境チェックポイントを妨害し、約 1000kg の魚を放置していった。多くのカンボジア人魚売りが、自分たちの売り物を毎朝タイ国境まで運んで、1 キロあたりに 9 セントの関税を支払っていた。しかし最近になって、タイの関税が、関税を 1 キロあたり 34 セントにあげており、商人の間で不満が広がっていた。彼らは、関税を再び下げようと訴える。商人達は、昨日の朝ポイペトのボーダーを妨害して、朝の 9 時ごろから正午ごろまで、交通渋滞を引き起こした。

40 歳の Roth Thaさんは、特に 1 度に数百キロの魚を売る商人達にとっては、値上げが急激すぎると話した。「私たちは、魚 1 キロだけを売るのではありません。一度に 200 キロかそれ以上は売ります。最近の関税の高さは異常です。もし売上の良くない日があれば、利益にさえなりません」と話した。Cambodia Informal Economy Reinforced Association のディレクターMang Puthyさんは、今のところタイ側は、商人にたいして何の共感も示していないという。「タイは、自分たちのやりたいように関税をあげています。タイ側で商売をするカンボジア人の商人にたいして、一つの情も持っていないのです」と話した。タイとカンボジアそれぞれの担当者が、今回の値上げについて今日中に話し合いをする予定だと、ポイペト職員の Ngor Meng Chrounさんは話した。

## 7. シンガポール企業と月内に石油開発契約＝初の原油生産に道筋

カンボジアは海洋油田の開発に向けて、今月中にシンガポールの資源探鉱会社クリスエナジーと、改定版「生産物分与契約」に調印する予定だ。何年も遅れていたカンボジア初の原油生産に向けて、ようやく基盤が整うとみられている。カンボジア鉱業・エネルギー省の高官がロイター通信に語った。カンボジアは、クリスエナジーが昨年「鉱区A」の単独権益保有者となったことを受け、2002年に結んだ生産物分与契約の財務条項の改定に取り組んでいる。改定の具体的内容について、政府やクリスエナジーは何も明らかにしていない。鉱区Aは、カンボジア沖合領海のクメール堆積盆地に位置する。従来オペレーターを務めていた米シェブロンは10年前に石油鉱床を発見したものの、投資条項をめぐるカンボジア政府と合意できず、生産は実現しなかった。シェブロンが保有していた権益は、クリスエナジーが14年に買収した。クリスエナジーは10年以内に低硫黄原油を日量8000バレル前後生産したい意向だ。ただ、開発コストが推計2億ドル弱に上るため、事業パートナーを探すのが先決となる。14年の原油価格下落以来、企業の積極投資が乏しいことから、カンボジアはタイ湾の油田開発で苦戦を強いられている。

## 8. 関電・中国電など、プノンペンの送配電網増強でコンサルタント業務受託

関西電力と中国電力、関電の子会社で総合建設コンサルタント業務を行うニュージェック(大阪市)の3社は21日、カ

ンボジア電力公社からコンサルタント業務を受託したと発表した。3社はプノンペンの送配電網を増強する事業を支援する。プノンペンとその周辺では、経済成長に伴って電力需要が拡大している。しかし、電力設備の整備が追い付かず、停電が発生すると広範囲に影響が及び、復旧に時間がかかっている。3社は、今月から2022年5月まで社員を現地に派遣。送変電や配電の設備を増強するための設計、入札審査などを行い、カンボジアへの技術移転を進める。

#### **9. イオン、小型スーパーで出店攻勢 プノンペン北部に2号店**

イオン(カンボジア)が小型スーパーで出店攻勢をかけている。プノンペン北部のトゥールコック地区で 26 日、2号店を一部開業した。1号店を開けてからわずか半月のスピード出店で、今秋にはもう1店を追加し、2019 年末までに 26 店体制にする計画だ。会社帰りなどの日々の買い物需要を取り込み、グループで多店舗化によるコスト削減を目指す。

以上